

富田久三郎の遺徳しのぶ

備後絣音頭をつなぐ会

「備後絣音頭をつなぐ会」(会長／五

富田久三郎は、芦

田郡下有地村(現芦

田町)に生まれ、嘉

永6年(1853

年)に備後絣の基に

富田久三郎翁慰
霊・顕彰の催し」が

18日、福山

市しんいち

歴史民俗博

物館(新市

町新市)の

前庭で開か

れた。地域

で継承され

ている備後

絣音頭を踊

り、備後絣

の創始者、

富田久三郎

の遺徳をし

のんだ。



なるかすりの技術を
創案。芦品郡一帯の
農家にその技術を伝
え、かすりの生産
を地域の主要な産業
として発展させたほ
か、同業者の組合の
結成などにも尽力し
た。

昭和43年に旧備後
絣共同組合が大佐山
に建立した富田久三
郎像が、平成24年に
同博物館へ移設され
たのをきっかけに、
同会による慰霊・顕
彰の催しが始まった。
富田久三郎の命
日の10月8日に合わ
せ、毎年この時期に
地域住民に参加を呼
び掛けて開催してい
る。

今年は、同会の会
員と地域住民の計25
人が参加。五阿彌会
長が富田久三郎の偉
業を紹介し、全員で
竹踊りと輪踊りを
踊った。